

# 体験活動参加型+子育てサロン型（こども園）

学校名等	恵那市立中野方こども園
実施日時	平成30年10月10日（水）・12月5日（水）
会場	恵那市立中野方こども園
参加人数	年長クラス親子 13組
学習課題（分野）	親子陶芸教室・親子お茶会
運営者の願い	子ども達が自分で作った世界に一つだけの茶碗でお茶会を開き、お家の人にお茶を振る舞ってあげたいという思いから、4年前に陶芸教室を始めた。親子で相談し工夫して茶碗を作ること、お茶をいただくことから、温かいふれあいが生まれる。

## 学 習 の 内 容

### <活動の流れ>

10月の陶芸教室から12月のお茶会まで、活動につながった家庭教育学級となっている。

10月の陶芸教室では、年長クラスの子ども達一人一人が、陶芸家の先生に指導を受けながら、お家の方と一緒に茶碗を作った。子どもにもよく分かる作り方で、2時間近い活動時間だったが、誰も飽きることなく親子で集中して作り、世界に一つだけの茶碗が完成した。

12月には、きれいに焼き上がったお茶碗を使って、親子お茶会が開かれた。子ども達は、お茶の先生から一人一人お作法を習い、自分で作った茶碗でお抹茶をいただいた。その後、お家の方がお茶席に着き、子ども達がお運びをして、お茶を振る舞った。落ち着いた静かな時間が流れ、お家の方にも子ども達にも、穏やかな笑顔が広がった。

### <活動の内容>

#### 10月10日

講師：保母 重徳 氏（地元在住の陶芸家）

- ・粘土の玉を作る。
- ・ピザの形に伸ばした粘土を、子どもの膝に被せて茶碗の形を作る。
- ・高台と飾りを茶碗に付ける。



親子で茶碗作り

#### 12月5日

講師：西尾 サキ子 氏（お茶の先生）

- ・子ども達一人一人が、入室からのお作法を習い、お茶をいただく。
- ・子ども達がお運びをし、お家の方にお茶を振る舞う。
- ・お茶の先生から掛け軸「心静百事佳」の意味をお聞きする。



子ども達がお家の方にお茶を振る舞いました

### <保護者の感想>

- ・茶碗作りでは、子どもの膝で形を作り、「子どもが好きなように飾りをやっているよ」と言うところが良かった。
- ・子どもがお抹茶をお運びしてきて、親子で目を見合ってきちんと礼をし合うところがとても新鮮だった。
- ・これを機会に、また親子でお茶を楽しめたらよいなと思った。



粘土で作った茶碗



焼き上がった茶碗

### <つながる活動>

陶芸教室からお茶会までの流れがある活動で、茶碗を通して親子や親同士の交流ができる。

10月の活動が12月まで続き、親子の楽しみが継続する。

### <活動がサロン型>

陶芸教室では、子どものグループに保護者が入って活動したことで、親と子ども、親と親、子どもと子どもの交流が自然にでき、和やかな活動となった。

### <生活につながる活動>

陶芸家の先生が、「茶碗は家で使ってください」と話された。

お茶の先生が掛け軸の意味について話された後、園長先生が掛け軸の意味につなげて「一日心静かに過ごせるといいね」と話された。

活動が終わると終わりではなく、生活につながっていく。

